

平成27年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市民文化センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
Ⅰ. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
Ⅱ. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
Ⅲ. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
Ⅳ. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点）「標準をはるかに上回る」	評価点 (100点満点)	総合評価 (S, A, B, C, D)
A（75点～90点）「標準より良好」		
B（60点～74点）「適正（標準）」		
C（45点～59点）「要指導」		
D（44点以下）「管理運営体制の見直しが必要」		
	77	A

H27実績			
指定管理料	266,152 千円	(前年度比)	(10,205 千円)
利用者数	416,948 人	(前年度比)	(△ 2,927 人)
事務手続き	届出・・・○	協議・・・○	報告・・・○

サービス向上対策	
内容	新規
船山隆フロンティア大使企画の秋の日のギター＆ピアノを自主事業として取り組んだ	○
安全確保のために、財団独自で施設敷地内の高木すべての空洞率診断を行った。	○
小さなお子様用のベビーカーを預かり、授乳室として会議室の一室を提供した。また、目の不自由な方、車椅子の方の案内を行った。	

評価概要
今年度については広報、PR活動のうち、県内他市の文化施設との関係強化を行い、来場者の確保に努めた。具体的には、郡山市民文化センターの催物案内等チラシを他の文化施設の公演の際にプログラムに折り込んでもらうよう依頼するなど積極的に行った。 事業関係では、船山フロンティア大使の企画した秋の日のギター＆ピアノを公益事業として実施するなど、積極的な音楽振興事業が評価できる。 また、安全確保のために施設敷地内の高木の空洞化率を検査し、倒木の恐れのある高木を把握し、市に伐採等の提案を行ったことが評価できる。 さらには、前年度に引き続き案内板等の更新を年次計画で行い、サービス向上に努めた。 課題としては、事業の実施にあたり、より市民のニーズを把握しながら入場者増につながる事業展開を行うことが必要であると考えられる。

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	A	—	—	—